

令和7年度 事業報告会



令和8年2月6日 一部抜粋

会員の加入状況 (令和8年2月6日現在)

賛助会員 44 会員
特別会員 8 会員



会員の加入状況 (令和8年2月6日現在)

賛助会員 44会員

札幌支所	標津町農業協同組合	名古屋支所	愛知県酪農農業協同組合		
	中春別農業協同組合		三重県酪農農業協同組合		
	士幌町農業協同組合		大阪畜産農業協同組合		
仙台支所	岩手中央酪農農業協同組合		大阪支所	ハイクオリティミルク農業協同組合	
	みやぎの酪農農業協同組合			兵庫県酪農農業協同組合	
	山形県酪農農業協同組合			大山乳業農業協同組合	
	福島県酪農農業協同組合			おかやま酪農農業協同組合	
東京支所	茨城北酪農農業協同組合			広島県酪農農業協同組合	山口県酪農農業協同組合
	茨城県酪農農業協同組合連合会			防府酪農農業協同組合	徳島県酪農農業協同組合
	栃木県酪農農業協同組合			徳島県酪農農業協同組合	香川県西讃酪農農業協同組合
	酪農とちぎ農業協同組合			徳島県酪農農業協同組合	愛媛県酪農農業協同組合連合会
	ぐんま酪農農業協同組合			福岡支所	ふくおか県酪農農業協同組合
	東毛酪農農業協同組合				佐賀県酪農農業協同組合
	榛名酪農農業協同組合連合会		長崎県酪農農業協同組合連合会		
	新潟県酪農農業協同組合連合会		熊本県酪農農業協同組合連合会		
山梨県酪農農業協同組合	大分県酪農農業協同組合				
石川県酪農農業協同組合	宮崎県酪農農業協同組合				
岐阜県酪農農業協同組合連合会	宮崎県南部酪農農業協同組合				
美濃酪農農業協同組合連合会	鹿児島県酪農農業協同組合				
名古屋支所	静岡県開拓酪農農業協同組合連合会	沖縄県酪農農業協同組合			
	富士開拓酪農農業協同組合				
	浜名酪農農業協同組合				

特別会員 8会員

一般社団法人 中央酪農会議
Japan Dairy Council

一般社団法人 家畜改良事業団

一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会
HCAJ

一般社団法人 日本草地畜産種子協会
GAUSA
Japan Grassland Agriculture and Forage Seed Association

公益社団法人 畜産技術協会
JTA
Japan Livestock Technology Association

ORION オリオン機械株式会社
冷熱と真空でイノベーション

一般社団法人 酪農ヘルパー全国協会
Japan Association of Dairy Helper Organizations

一般財団法人おからく教育振興会

契約農場の登録状況

賛助会員	契約農場名	地区
熊本県酪農農業協同組合連合会	株式会社宮本牧場	玉名市
中春別農業協同組合	株式会社なかしゅんべつ未来牧場	別海町
栃木県酪農農業協同組合	日光霧降高原 大笹牧場株式会社	日光市
酪農とちぎ農業協同組合	和泉牧場	那須塩原市
	株式会社 佐藤牧場	
愛媛県酪農農業協同組合連合会	小野田牧場	宇和町
宮崎県南部酪農農業協同組合	株式会社 高千穂牧場	都城市
宮崎県	一般社団法人 宮崎県酪農公社	都城市

卒業生 7 名 (4 組)

氏名	年代	就農時期	就農牧場	就農地
小久保 海	30代	令和5年9月	(有)もりもと牧場	熊本県
高橋 純真	20代	令和5年11月	らっきーべこファーム	福島県
高橋 帆乃佳	20代			
佐々木 雄太	30代	令和6年11月	佐々木牧場 (旧; 山田牧場)	福岡県
佐々木 真理子	30代			
前田 達弥	20代	令和8年1月	川崎牧場	鹿児島県
前田 ヴィオリスカ	20代			

4

人材発掘

採用方法

- 賛助会員からの人材紹介
- 募集要項 (公式サイトに掲載)
- 求人サイトに掲載
- 全酪新報、酪農専門誌等への記事掲載
- 求人イベントへのブース出展



新・農業人フェア

開催日	種別	会場
8月2日(土)	農業就職・転職 LIVE	東銀座歌舞伎座 タワー
9月15日(月)	農業EXPO	東京国際フォーラム
11月9日(日)	農業EXPO・LIVE	グランキューブ大阪
11月23日(日)	農業EXPO	東京ビッグサイト
2月11日(日)	農業就職・転職 LIVE	東京交通会館



5

活動報告（1）

令和6年度

開催日	内容
3月7日	第11回運営委員会
3月12日	第40回理事会
	【第1号議案】令和7年度事業計画（案）について

令和7年度

開催日	内容
4月18日	第41回理事会
	【第1号議案】定款の変更（案）について
	【第2号議案】賛助会員の入会承認について
5月8日	第12回運営委員会
5月12日	第42回理事会
	【第1号議案】令和7年度（第5事業年度）定時社員総会議案書（案）の承認について
	【第2号議案】定時社員総会の日程について

6

活動報告（2）

令和7年度

開催日	内容
6月20日	令和7年度（第5事業年度）定時社員総会
	【第1号議案】第4事業年度事業報告及び収支決算の承認について
	【第2号議案】第5事業年度事業計画について
	【第3号議案】第5事業年度負担金、年会費の賦課について
	【第4号議案】理事及び監事の報酬について
	【第5号議案】定款変更について
6月20日	【第6号議案】役員改選について
	第43回理事会
	【第1号議案】理事の順位について
8月1日	【第2号議案】運営委員の任免について
	第44回理事会
8月26日	【第1号議案】運営委員の任免について
	第13回運営委員会

7

令和7年度

開催日	内容
9月16日	第45回理事会 【第1号議案】新規コースの設立について
10月14日	第14回運営委員会
11月20日	第46回理事会 【第1号議案】一般社団法人全酪アカデミー、福島県酪農業協同組合、シャインコースト株式会社、一般社団法人全国酪農協会及び全国酪農業協同組合連合会との連携協力に関する協定締結に向けて
	【第2号議案】一般社団法人全酪アカデミーと一般社団法人酪農ヘルパー全国協会との連携協力に関する協定締結に向けて
12月3日	第15回運営委員会
1月26日	第47回理事会
1月29日	前田達弥氏・ヴィオリスカ氏 就農激励会（鹿児島県霧島市） 鹿児島県酪農業協同組合との共同開催

研修計画（参考）

年次	1年目	2年目～3年目
研修場所	育成・搾乳の基礎研修 全酪関連連牧場 (酪農技術研究所、シャインコースト)	酪農場での実践研修 契約農場
研修内容及び就農活動	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実地研修 搾乳、繁殖、分娩、飼料、堆肥、自給飼料他 ■ 座学研修 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 酪農技術全般 <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳牛の基本的理論 ✓ 畜産経営 ✓ 生乳取引 ✓ 圃場管理、堆肥づくり ✓ 協同組合（連合会）とは ✓ 畜産関連法 ■ 契約農場選定、就農地視察 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実地研修 搾乳、繁殖、分娩、飼料、堆肥、自給飼料他 ■ 座学研修 <ul style="list-style-type: none"> ■ 就農地確保 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 就農候補地視察 ✓ 就農地の決定・・・2年目の10月までに決定 ■ 就農の準備 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 資産譲渡契約 (牛舎、乳牛、搾乳機器、農地・農業機械) ✓ 事業計画策定 ✓ 資金の確保 ✓ 移譲者との協議 ✓ 地域コミュニティづくり（酪農家、行政）
	座学研修	就農活動

公益財団法人 中国四国酪農大専校

(令和4年4月14日～29日)



研修生: 佐々木真理子、雄太

[4月]		第1講義	第2講義	第3講義	実習	備考
日	曜日	10:00~11:00	11:10~12:10	13:00~14:00	15:00~	
●	木	×			入校式・イロコトラーズ	×
●	金	×	実習村エンターション/酪農機械実習 9:00~12:00/13:00~15:00			○
●	土					
●	日					
●	月	○	搾乳理論	搾乳理論	搾乳理論	○
●	火	○	搾乳理論	搾乳理論	搾乳理論	○
●	水	○	飼料学	飼料学	飼養管理学	○
●	木	○	家畜繁殖学	家畜繁殖学	家畜繁殖学	○
●	金	○	搾乳理論	搾乳理論	搾乳理論	○
●	土					
●	日					
●	月	○	飼料学	飼料学	飼料学	○
●	火	○	酪農基礎学	酪農基礎学	酪農基礎学	○
●	水	○	家畜繁殖学	家畜繁殖学	家畜繁殖学	○
●	木	○	飼料作物学	飼料作物学	飼料作物学	×
						14:10~ 退校式



【基礎研修】全酪連関連牧場（作業風景）

業務(研修)報告書

研修場所 酪農技術研究所
報告者 佐々木真理子



期 間	主たる報告事項	
週	項目	内容
第1週	搾乳	搾乳前の準備及び搾乳後の片付け・ミルクー洗浄が1人でできるようになった。また、外回り作業(TMR作成、哺乳牛の管理など)も一通り一人で行った。
	繁殖	発情観察及び育成牛の発情確認・AI観察。育成牛は直観検査で頸管を確認できるようになった。
	堆肥処理	堆肥の切り返しを行った。
	就業準備	人工授精師の申請を行った。
第2週	搾乳	乳房炎の牛の対応(PLテスト、乳房洗浄、菌培養、菌の同定)下血した子牛の対応、足悪の育成牛の対応を行った。また、搾乳牛の放牧も開始した。放牧時間や給与飼料など今後検討していきたい。
	繁殖	発情が来ている育成牛の直観検査と注入器を子宮頸管に通す練習を行った。直観検査では収縮している頸管を確認することができた。注入器を頸管に通すのは一人でやるのは難しいと感じたので、練習を続けていきたい。
	堆肥処理	堆肥の切り返しを行った。
	就業準備	大型特殊と牽引免許の申し込みを行った。
第3週	搾乳	BCSの測定、ミルクー・給水機の点検、乾乳前のエサの量の調整等を行った。
	繁殖	廃用予定の搾乳牛で注入器を子宮頸管に通す練習を行った。まだマスターできないので、練習を続けていきたい。
	堆肥処理	堆肥の切り返しを行った。
	就業準備	大型特殊の教習。
第4週	搾乳	熱発した搾乳牛の対応、抗生物質を投与したためバケツで搾乳を行った。また、分娩50日前の搾乳牛を乾乳舎へ移動し、乾乳の対応を行った。
	繁殖	繁殖会議にて淘汰候補牛の検討を行った。今回長期不発情により廃用が決まった2頭はどちらも1産であり、酪研では1産での廃用が多いとのことであった。今後原因を検討していきたい。また、廃用予定の搾乳牛で産後を使って人工授精の練習をし、初めて注入器を子宮頸管に通すことが出来た。
	堆肥処理	堆肥の切り返しを行った。
	就業準備	酪農経営について

【実践研修】 契約農場（作業風景）

研修計画(確認書) (小久保 海さんの場合)



小久保 海さん



項目	内容	詳細	実施計画											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
農場作業全般	機械	作業機の運転、点検、メンテナンス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	牛舎	掃除(糞、尿、浴槽機など)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	環境	掃除、仮設機など	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	飼料	TMF前処理、飼料貯蔵	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
分娩	分娩	分娩の観察および頭絡による検定、誘導の経験	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	分娩補助	分娩補助のタイミング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
哺育	哺育	乳の消毒、初乳給与	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	健康確認	哺乳の仕方、哺乳瓶、自動哺乳器の手入れ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
育成	発着確認	哺乳量の把握、検温	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発情薬投与	発情薬投与、採卵	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
移行期	乾乳方法	乾乳教育	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	群分け	フレッシュ群から泌乳群に入れるタイミング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
搾乳	搾乳作業	搾乳手順	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	搾乳機点検	搾乳機点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
施肥	臭い確認	臭い、オシ、尿度、色	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	堆肥作り	通常の堆肥処理作業、厚し堆肥の作り方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自給飼料生産	作付、収穫、貯蔵	オシ、クワ等の草刈り機、基本、ロータリー、クワ等の作物別特性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	貯蔵	貯蔵対策と作物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
建築物	牛舎	牛舎の特徴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	衛生	搾乳衛生、換気、二律管理、飼料管理、水管理、産乳の条件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般社団法人全酪アカデミー(以下、全酪アカデミー)と契約農場(株)宮本牧場が令和5年6月1日に締結した出向契約に基づき、上記のとおり研修計画を実施することを確認する。

令和5年9月1日

教育カリキュラムの実施状況 (参考)

全酪アカデミー座学 年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生			乳牛の特徴・行動	暑熱対策	乳成分管理 乳質管理	生乳取引	畜産関連法	畜産関連法	畜産経営	牛群の観察	畜産関連法	繁殖管理
			置本	置本	置本	岩本	東	東	丹戸・置本	置本	東	
		畜産経営	栄養管理		協同組合	健康管理	育成管理	移行期の管理	畜産経営		自給飼料	
	丹戸・置本	置本		大森	置本	置本	置本	丹戸・置本				
2年生	就農地視察	就農地視察	事業計画	事業計画	就農地協議	就農地協議		畜産経営		畜産経営		
	坂本	丹戸・坂本	丹戸・坂本	丹戸・坂本	丹戸・坂本	坂本		丹戸・置本		丹戸・置本		



前田 達弥さん
前田 ヴィオリスカさん



全酪アカデミー 1組目 小久保 海

就農日：令和5年9月1日
就農地：熊本県阿蘇市（搾乳130、草地70ha）
就農方法：株式譲渡
資金：（有）もりもと牧場より借入れ



有限会社もりもと牧場

14

全酪アカデミー 2組目 高橋 帆乃佳、純真

就農日：令和5年11月1日
就農地：福島県塙町（搾乳36頭、草地6ha）
就農方法：有形資産の取得
資金：青年等就農資金、経営発展支援事業



高橋牧場（らっきーべこファーム）

15

【就農までの道のり】 (佐々木夫妻の例)

日付	内容
令和5年10月	ふくおか県酪訪問 (相談) 山田牧場継承の進め方 山田牧場訪問 資産譲渡に関する協議(農林、普及指導センター、宗像市) 基本合意書締結
令和5年11月	山田牧場訪問 * 経営発展支援事業の取得資産の価額決定 (乳牛価格の概算決定) * 堆肥舎屋根、ホイルローダー、バンクリの見積り * オリオン機械による現地調査
令和6年1月	* 宗像市によるヒアリング調査 (経営発展支援事業) * 青年等就農計画に盛り込む内容について協議 (内容提出)
令和6年2月	経営発展支援事業 次年度事業要望調査 (提出) 宗像市→県 普及指導センター及び宗像市と協議 青年等就農計画 申請書類作成 佐々木さんの宗像市での引越先探し
令和6年3月	宗像市へ青年等就農計画 申請 日本政策金融公庫への進捗報告
令和6年4月	山田牧場を全酪アカデミー契約農場とする研修を開始
令和6年5月	青年等就農計画承認、家族経営協定締結 (宗像市) 日本政策金融公庫へ青年等就農資金申請
令和6年6月	経営発展支援事業 計画申請提出の要請通知
令和6年7月	経営発展支援事業 計画申請提出 経営発展支援事業 県→宗像市 交付見込内示及び交付申請の提出要請
令和6年8月	経営発展支援事業 県→宗像市→佐々木 交付決定通知
令和6年9月	資産譲渡契約書 締結 日本政策金融公庫より青年等就農資金の融資決定通知
令和6年10月	資産 (乳牛) の最終評価
令和6年11月	日本政策金融公庫→佐々木 融資実行
令和6年11月～	就農開始 (資産の引渡し、譲渡代金の支払い)

18

全酪アカデミー 4組目 前田 達弥、ヴィオリスカ

就農日：令和8年1月1日

就農地：鹿児島県霧島市 (搾乳55頭、草地15ha(一部賃貸借))

就農方法：有形資産の取得

資金：青年等就農資金、経営発展支援事業

家族経営協定調印式



19

全酪アカデミー 4組目 前田 達弥、ヴィオリスカ

令和8年1月29日(木) 就農激励会



【就農までの道のり】 (前田夫妻の例)

令和3年	12月	新・農業人フェア(大阪会場)にて、全酪アカデミーのブースへ。
令和4年	1月	WEBにて事業説明。面接。
	3月	浜名酪農協(静岡県)管内酪農家にて、酪農体験(1カ月)。
令和5年	4月	全酪アカデミー入職。福島県矢吹町(全酪連酪農技術研究所)にて研修開始。 公益社団法人中国四国酪農大学校にて、研修(15日間)。
	5月	就農候補地の視察。福島県酪農協訪問。
	6月	就農候補地の視察。富士開拓農協訪問。
	7月	全国酪青女・全酪連共催の『酪友フォーラム』(札幌市)参加。 就農候補地の視察。福岡県酪農協訪問。
	8月	就農候補地の視察。愛媛県酪農協訪問。
	9月	就農候補地の視察。熊本県酪農協訪問。
	10月	就農候補地(川崎牧場)、初めての視察。かごしま県酪農協訪問。 『石川實のデーリィライフ』(TBSラジオ)出演。
	12月	経営移譲を前提として、川崎牧場再訪。鹿児島県酪農協同行。
令和6年	4月	霧島市へ転居。川崎牧場にて、経営継承を前提とした研修を開始。かごしま県酪、鹿児島県、霧島市などと就農に向けた協議を開始。
	6月	第一子(翠)誕生。
	7月	前田夫妻と川崎牧場にて基本合意書を締結。
	11月	日本政策金融公庫鹿児島支店へ、経営計画書の提出。
令和7年	9月	家族経営協定の締結(調印式)。認定農業者の審査承認。
	12月	前田夫妻、川崎牧場の2者間による資産譲渡等各種契約書の締結。
令和8年	1月	就農。生乳を初出荷(元旦)。

【就農までの道のり】 (まとめ)

アカデミー 卒業生/研修生	事業年度									
	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3
小久保 海	8月入職				9月就農					
高橋 純真			4月入職		11月就農					
高橋 帆乃花					4月入職		11月就農			
佐々木 雄太			4月入職				11月就農			
佐々木 真理子			4月入職				11月就農			
前田 達弥					4月入職				11月就農	
前田 ヴィオリスカ					4月入職				11月就農	

就農地決定までの流れ



STEP1 情報提供

- 物件情報シート
- * 物件の基本情報
- * 就農方法
 - A) 離農物件取得
 - B) 事業継承
 - C) 株式譲渡

STEP2 事前調査

- 現地調査
 - * 譲渡希望者の意向
 - * 譲渡資産の把握
 - * 資産の名義 (親族同意)
- 組合の意向確認
 - * 組合加入の要件
 - * 組合の就農支援の概要
- 生活環境の調査
 - * 住宅、スーパー、病院、教育
- 進め方 (協議会設置)
- 契約農場の確保

STEP3 現地協議

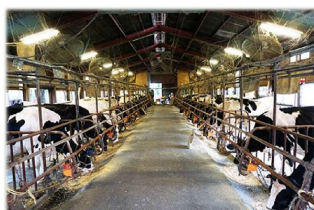
- 譲渡者、就農者の対面
- 現地視察
 - * 資産の確認、評価 (土地/施設/機械/草地)
- 組合訪問
 - * 組合の概要 (歴史、事業)
 - * 組合加入について
 - * 就農サポート体制
- 生活環境の確認
- 協議継続の確認

STEP4 就農地決定

- 近隣住民の同意
- 営農計画プラン (改修、機械・設備・乳牛の導入)
- 取得資金の確保
 - * 青年等就農計画
 - * 青年等就農資金
- 資産譲渡契約の締結

就農地情報 情報シート

項目	内容
物件名称	〇〇〇〇〇〇〇〇
所在地	〇〇〇〇〇〇〇〇
面積	〇〇〇〇〇〇〇〇
用途	〇〇〇〇〇〇〇〇
取得方法	〇〇〇〇〇〇〇〇
譲渡希望者	〇〇〇〇〇〇〇〇
譲渡資産	〇〇〇〇〇〇〇〇
資産名義	〇〇〇〇〇〇〇〇
親族同意	〇〇〇〇〇〇〇〇
組合意向	〇〇〇〇〇〇〇〇
組合加入要件	〇〇〇〇〇〇〇〇
組合支援概要	〇〇〇〇〇〇〇〇
生活環境	〇〇〇〇〇〇〇〇
進め方	〇〇〇〇〇〇〇〇
契約確保	〇〇〇〇〇〇〇〇



就農候補地 情報シート

※ス枠必須項目

賛助会員	〇〇県酪農協同組合	担当者氏名		
農場名		経営主氏名	〇〇〇〇	
農場住所	〇〇県〇〇郡〇〇町大字			
譲渡予定時期	令和 5年 月頃			
飼養規模 (経産牛)	30 頭	飼養規模 (育成牛)	15 頭	
経営形態	法人経営	非法人経営		
飼養形態	繋留式	フリーストール	フリーバーン	
搾乳形態	パイプライン	パーラー	ロボット	
糞尿処理方法	固液分離機使用 堆肥ローダーで堆肥舎へ			
飼料作物作付面積 (借地舎)	10ha未満	20ha未満	20ha以上	
賛助会員及び地域の就農サポート体制 (就農支援策)	【賛助会員】新規就農者向け 乳牛導入助成、配合飼料助成、青年等就農計画作成、【県市町村】			
情報公開	全酪アカデミー研修生限定	全酪アカデミー賛助会員限定	中酪プラットフォーム掲載可	
水	沢水	農業用水	水道水	
畑の価格 (相場)	250,000 円/10a			
調達可能な副産物				
利用可能な外部委託	TMRセンター	コントラクター	預託牧場	
気候	【気温】最低 -10 ℃ 最高 32 ℃ 【降雪】 20 cm			
生活環境 (病院、スーパー、学校他)	病院：2.5分 小学校：2.5分 中学校：2.0分 スーパー：2.5分 組合：4.5分			
	項目	物件	数量	名義
農用地	飼料畑		5.2 ha	本人・親族
	施設地		0.45 ha	本人・親族
農業用施設	搾乳牛舎		1 棟	本人・親族
	乾乳牛舎		1 棟	本人・親族
	育成牛舎		1 棟	本人・親族
	哺育牛舎		1 棟	本人・親族
	堆肥舎		2 棟	本人・親族
	バンカーサイロ		5 基	本人・親族
		農器具庫	堆肥舎内 1 棟	本人・親族

24

就農地決定までの流れ



■物件情報シート
*物件の基本情報
*就農方法
A) 離農物件取得
B) 事業継承
C) 株式譲渡

■現地調査
*譲渡希望者の意向
*譲渡資産の把握
*資産の名義 (親族同意)
■組合の意向確認
*組合加入の要件
*組合の就農支援の概要
■生活環境の調査
*住宅、スーパー、病院、教育
■進め方 (協議会設置)
■契約農場の確保

■譲渡者、就農者の対面
■現地視察
*資産の確認、評価 (土地/施設/機械/草地)
■組合訪問
*組合の概要 (歴史、事業)
*組合加入について
*就農サポート体制
■生活環境の確認
■協議継続の確認

■近隣住民の同意
■営農計画プラン (改修、機械・設備・乳牛の導入)
■取得資金の確保
*青年等就農計画
*青年等就農資金
■資産譲渡契約の締結

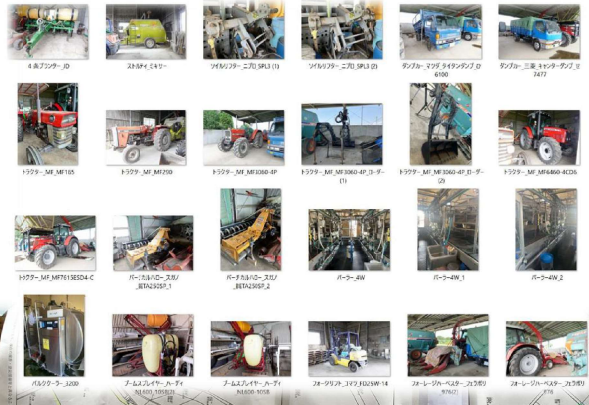
就農候補地 情報シート

農場名	〇〇県酪農協同組合	担当者氏名	〇〇〇〇
農場住所	〇〇県〇〇郡〇〇町大字		
譲渡予定時期	令和 5年 月頃		
飼養規模 (経産牛)	30 頭	飼養規模 (育成牛)	15 頭
経営形態	法人経営	非法人経営	
飼養形態	繋留式	フリーストール	フリーバーン
搾乳形態	パイプライン	パーラー	ロボット
糞尿処理方法	固液分離機使用 堆肥ローダーで堆肥舎へ		
飼料作物作付面積 (借地舎)	10ha未満	20ha未満	20ha以上
賛助会員及び地域の就農サポート体制 (就農支援策)	【賛助会員】新規就農者向け 乳牛導入助成、配合飼料助成、青年等就農計画作成、【県市町村】		
情報公開	全酪アカデミー研修生限定	全酪アカデミー賛助会員限定	中酪プラットフォーム掲載可
水	沢水	農業用水	水道水
畑の価格 (相場)	250,000 円/10a		
調達可能な副産物			
利用可能な外部委託	TMRセンター	コントラクター	預託牧場
気候	【気温】最低 -10 ℃ 最高 32 ℃ 【降雪】 20 cm		
生活環境 (病院、スーパー、学校他)	病院：2.5分 小学校：2.5分 中学校：2.0分 スーパー：2.5分 組合：4.5分		



25

現地協議 (STEP3) (イメージ)



基本合意書

〇〇牧場(住所〇〇〇〇〇〇〇、以下「対象牧場」という。)の経営主である〇〇〇〇(以下「甲」という。)並びに対象牧場にて新たに就農する者となる〇〇〇〇(以下「乙1」という。)及び〇〇〇〇(以下「乙2」という。)(以下乙1と乙2の総称を「乙」という。)は、乙が対象牧場の事業等に供する甲の資産の購入及び賃貸により対象牧場にて新規参入する件(以下「本件新規参入」という。)に関する基本的な事項について、以下のとおり合意したことを証するため、基本合意書(以下「基本合意」という。)を締結する。

- 第1条 (基本合意)
- 1 甲及び乙は、基本合意締結日現在において、乙が甲から購入及び賃貸借する資産を資産台帳及び現況調査にて確認する。
 - 2 甲及び乙は、2025年11月1日又は甲及び乙が別途合意する日(以下「引渡日」という。)において、乙1又は乙2が対象牧場の経営主となることを了承する。
 - 3 甲及び乙は、2025年9月〇〇日を目途に資産譲渡契約書(以下「本契約」という。)を締結する。本契約にて、本件新規参入の完遂に向け対象牧場の事業等に供する甲の資産



就農地決定までの流れ



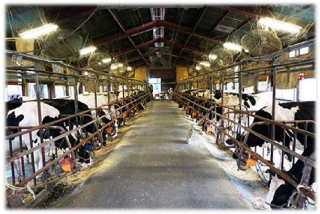
- 物件情報シート
- * 物件の基本情報
 - * 就農方法
 - A) 離農物件取得
 - B) 事業継承
 - C) 株式譲渡

- 現地調査
- * 譲渡希望者の意向
 - * 譲渡資産の把握
 - * 資産の名義(親族同意)
 - 組合の意向確認
 - * 組合加入の要件
 - * 組合の就農支援の概要
 - 生活環境の調査
 - * 住宅、スーパー、病院、教育
 - 進め方(協議会設置)
 - 契約農場の確保

- 譲渡者、就農者の対面
- 現地視察
- * 資産の確認、評価(土地/施設/機械/草地)
 - 組合訪問
 - * 組合の概要(歴史、事業)
 - * 組合加入について
 - * 就農サポート体制
 - 生活環境の確認
 - 協議継続の確認

- 近隣住民の同意
- 営農計画プラン(改修、機械・設備・乳牛の導入)
 - 取得資金の確保
 - * 青年等就農計画
 - * 青年等就農資金
 - 資産譲渡契約の締結

物件番号	所在地	面積	取得方法	備考
001	〇〇市〇〇町	1000㎡	取得済	〇〇〇〇
002	〇〇市〇〇町	2000㎡	取得済	〇〇〇〇
003	〇〇市〇〇町	3000㎡	取得済	〇〇〇〇
004	〇〇市〇〇町	4000㎡	取得済	〇〇〇〇
005	〇〇市〇〇町	5000㎡	取得済	〇〇〇〇
006	〇〇市〇〇町	6000㎡	取得済	〇〇〇〇
007	〇〇市〇〇町	7000㎡	取得済	〇〇〇〇
008	〇〇市〇〇町	8000㎡	取得済	〇〇〇〇
009	〇〇市〇〇町	9000㎡	取得済	〇〇〇〇
010	〇〇市〇〇町	10000㎡	取得済	〇〇〇〇



就農地決定～新規就農（STEP4）（イメージ）

認定新規就農者制度

- 新規就農者を地域農業の担い手として育成するためには、就農段階から一貫した支援が重要。このため、平成26年度から、認定新規就農者制度を認定農業者制度と同様に、市町村が青年等就農計画を認定。
- 市町村の認定を受けた認定新規就農者に対して、早期の経営安定に向けた

1. 対象者（青年等就農計画の申請者）

その市町村の区域内において新たに農業経営を営むとする青年等*

* 青年（原則18歳以上45歳未満）、効率的かつ安定的な農業経営を営むために活用できる知識・技能を有する者（55歳未満）、これら若くして、法人が営む農業に従事すると認められる者の過半数を占める法人。

* 農業経営を開始してから一定期間（5年）以内のものを含み、認定農業従事者を除く

2. 青年等就農計画の認定

市町村は、申請された青年等就農計画が次の要件を満たす場合にその認定を実施。

- ① その計画が市町村の基本構想に照らし適切であること
- ② その計画が達成される見込みが確実であること 等

3. 認定新規就農者のメリット措置

- ・ 青年等就農資金（無利子融資）
- ・ 経営発展支援事業
- ・ 経営開始資金
- ・ 担い手確保・経営強化支援事業
- ・ 農地利用効率化等立派交付金

青年等就農計画認定申請書

霧島市長 中重 真一 殿

申請者住所 霧島市車人町
氏名 前田 達
生年月日 平成 8年
電話番号 090 -
氏名 前田 ヴ
生年月日 平成 10年
電話番号 080 -

農業経営基盤強化促進法（昭和56年法律第5号）第14条の4第1項の規定に基づき、申請します。

青年等就農計画

就農地	霧島市車人町	農業経営開始日
就農形態 (該当する形態にレ印)	<input checked="" type="checkbox"/> 新たに農業経営を開始【第三者継承】 <input type="checkbox"/> 親(三親等以内の親族を含む、以下同じ。)の農業経営と <input type="checkbox"/> 親(祖	
目標とする営農類型 (備考の営農類型の中から選択)	酪農	
経営規模 現状維持/受け	産量もます な産があれ 率を上げる	

1 成果目標の取組 経営発展支援事業

No.	項目	実施
1 研修	① 農業生産に関して、自ら取り組みようとする科目を含む研修を概ね1年以上（概ね1,200時間以上）受けている	<input type="checkbox"/>
	② 農業生産に関して、自ら取り組みようとする科目について研修を概ね1年以上（概ね1,200時間以上）受けている	<input type="checkbox"/>
	③ ②に加え、販路・流通・マーケティングの知識、帳簿や財務諸表の作成、労務管理等の農業経営に関する研修を受けている	<input type="checkbox"/>
2 サポート体制	① 地域サポート計画が策定されている	<input type="checkbox"/>
	② ①に加え、普及指導センターの普及指導活動の対象者として選定されている	<input type="checkbox"/>
	③ ②に加え、①の地域サポート計画の支援分野の全て ^{※1} について、担当機関・部署が明確になっている	<input type="checkbox"/>
3 経営管理の合理化	① 農場等に農作業の記録（施肥量、農薬散布量、作業時間等）を毎日つける	<input type="checkbox"/> B8
	② ①に加え、青色申告を実施する	<input type="checkbox"/> B8
	③ ②に加え、GAF認証等を取得する ^{※2}	<input type="checkbox"/>
4 所得	① 所得目標 ^{※3} が「250万円」又は「継承する経営の直近所得から1割増の額」のうちいずれか高い額(A)となっている	<input type="checkbox"/>
	② 所得目標が(A)の額から2割以上増の額となっている	<input type="checkbox"/>
	③ 所得目標が(A)の額から4割以上増の額となっている	<input type="checkbox"/>
5 家族経営協定 ^{※4}	① 農業経営の方針、農作業の役割分担、労働報酬、労働時間・休日に関する事項について書面で締結している	<input type="checkbox"/>
	② ①の事項に加えて、その他の事項（休憩、時間外及び休日の労働、時間外及び休日労働の補償等）についても書面で締結している	<input type="checkbox"/>

家族経営協定調印式



譲渡スキームの事例（法人の場合）



**酪農経営者
(株主)**

我々の持ち分（株式）を“やる気のある人”に譲渡するよ。一括が難しいなら10年分割譲渡でもいいよ。



**研修生
小久保 海 氏**

初回の株式取得の資金は、銀行から借り入れよう。2年目以降は、夫婦の役員報酬から株式取得資金を捻出できたら無理なく全株式を取得できる。

■オーナーから全株式を取得すると？

* 全ての資産が法人所有の場合、全株式の取得 = 会社の購入（固定資産含む）

■株価は？企業価値の評価は？

* 純資産価額方式
純資産額をベースとして決定する。
純資産額 = 純資産 - 負債



株式会社 全酪アカデミー牧場



資産評価

- 土地 ・ ・ ・ 地域相場を参考に評価
- 家屋 ・ ・ ・ 固定資産税評価額及び簿価を参考に評価
- 乳牛 ・ ・ ・ 酪農協もしくは全酪連による評価
- 牛舎 ・ ・ ・ 簿価を参考に評価
- 農業用機械 ・ ・ ・ 簿価を参考に評価（市場性のあるものは機械メーカー評価）



新規就農者の事業計画が成り立つこと



一般社団法人 Zenraku Academy

全酪アカデミー